

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

吉川市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

埼玉県吉川市

3 地域再生計画の区域

埼玉県吉川市の全域

4 地域再生計画の目標

当市の北部、東部地域には農地が広がり、市の面積の3分の1を占め、市の農業は重要な産業として本市の歴史を支えてきましたが、農業従事者の高齢化や後継者不足の問題などにより、農業就業人口等は減少傾向にあります。

また、商業においても、近年の郊外型大型店舗の立地による影響で事業所数や従業員数が減少しています。

人口は、72,877人（吉川市住民基本台帳[平成31年4月1日現在]）であり、これまで土地区画整理事業を計画的に実施したことにより、年々人口が増加しており、将来人口を推計すると、現在進行中の吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業地内への人口の定着を見込んでいることから、令和9年頃までは、人口が増え続ける推計となっています。

その後は、人口が減少に転じる見込みで、平成25年時点の合計特殊出生率である1.49が継続する場合、令和42年時点での本市の総人口は約5万9千人と推計される見込みです。

年齢3階層別区分で見ると、65歳以上の方は平成22年では17.3%でしたが、令和12年では25.3%に増加する反面、15～64歳の生産年齢人口は66.5%から61.2%に、14歳以下の年少人口は16.1%から13.5%に減少するものと見込まれます。

自然動態をみると、毎年出生数が死亡数を上回る「自然増」となっており、平成 30 年度においては、53 人の自然増となっています。合計特殊出生率は、概ね全国平均並みの水準となっており、平成 30 年においては、全国平均を上回る 1.44 となっております。

しかしながら、人口を維持するために必要とされる合計特殊出生率 2.07 と比較すると、0.63 ポイント下回っており、今後、少子高齢化が進むことを考慮すると、人口が自然減に転じる時期も近いことが予想されます。

また、社会動態をみると、年によって差はあるものの、いずれも転入者数が転出者を上回る「社会増」となっており、平成 30 年においては、343 人の社会増となっています。

今後も前述のとおり、吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業により、総人口は増加していく見込みとなりますが、開発地区以外では、すでに人口減少が始まっている状況にあります。

上記のとおり、現状は人口が増加しているものの、今後は人口が減少に転じる見込みであり、人口が減少した場合は、少子高齢化の一層の進行に伴う人口構造の変化によって、生産年齢人口の減少や住民の需要減少による地域経済の衰退といった課題が懸念されます。

これらの課題に対応し、今後訪れる人口減少の到来に対応し、人口増加のピークの先延ばしと人口減少の抑制を図るため、市民が安心して妊娠・出産、子育てができる環境を整備し、出生数の減少に歯止めをかけ、教育環境の充実を図るとともに、産業全体の活性化による雇用の場を創出することで若者の定住・定着を図ることが必要であることから、次の 2 つの基本目標に基づく施策を展開し、将来にわたって持続可能なまちづくりを実現します。

- ・基本目標 1 「子どもの笑顔と活気でまちを満たす」
- ・基本目標 2 「市民の幸福実現を追求する」

【数値目標】

| 5-2の | KPI | 現状値 | 目標値 | 達成に寄与す |
|------|-----|-----|-----|--------|
|------|-----|-----|-----|--------|

| ①に掲げる事業 | | (計画開始時点) | (令和6年度) | る地方版総合戦略の基本目標 |
|---------|------------------------------------|------------------------|------------------------|---------------|
| ア | 大人：「子どもが目標に向かって充実した生活を送っている」と考える割合 | 46.5% | 60.0% | 基本目標1 |
| | 子ども：「夢や目標を持っている」と考える割合 | 小学生：84.9% 中学生：71.1% | 小学生：92.0% 中学生：75.0% | |
| | 希望子ども数 | 2.25人 | 2.58人 | |
| | 合計特殊出生率 | 1.46 | 1.61 | |
| イ | 幸福と感じる割合 | 87.3% | 87.5% | 基本目標2 |
| | 住み心地 | 82.4% | 83.0% | |
| | 市の取り組みに対する満足度 | 64.3% | 70.0% | |
| | 生産年齢人口 | 45,282人 | 47,966人 | |
| | 市民所得金額 | 109,778,669千円 | 114,213,726千円 | |
| | 市内事業所数 | 1,806社 | 1,840社 | |
| | 人口 | 72,891人 | 78,752人 | |

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

吉川市まち・ひと・しごと創生推進計画事業

ア 子どもの笑顔と活気でまちを満たす事業

イ 市民の幸福実現を追求する事業

② 事業の内容

ア 子どもの笑顔と活気でまちを満たす事業

- ・更なる教育の充実に取り組み、確かな学力、豊かな心、健康と体力、未来を生き抜く力を身につけた子どもを育てます。
- ・出産・子育ての希望をかなえるため、地域の良好な環境づくりや支援等をより推進します。
- ・SDGs（持続可能な開発目標）の「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、未来を担う子どもの育成に努めます。

（施策1） 輝く☆子ども育成プラン【教育】

吉川市が将来にわたり、子どもの笑顔で満たされた活気あるまちであることを目指し、確かな学力、豊かな心、健康と体力を身に付け、想像力と独創性を持った子どもを育てます。

【具体的な事業】

- ・Society5.0を見据えたICT教育の推進【学力向上】
- ・社会性や協調性を身に付けるための事業の推進【人間力・自己実現力】
- ・子どもの体力づくりの推進【健康・体力】
- ・家庭教育学級の充実や、地域の教育力の活用【地域】
- ・生活困窮者世帯等の子どもに対する学習支援【教育機会の平等】 等

（施策2） 子育て支援充実プラン【子育て】

多様な子育てスタイルを選択できるように、地域・企業・家庭の子育て環境の充実を図るとともに、民間保育所や幼稚園等へ継続した支援を行います。

【具体的な事業】

- ・子育て支援センターの充実及び子育て支援団体との連携【地域】
- ・保育所の整備促進【事業者】

- ・子育て応援ガイドブック等を活用した子育て関連情報の提供【情報発信】
- ・放課後児童対策の充実【多様性】
- ・子ども未来応援集会など貧困対策の推進【経済的支援・貧困対策】 等

(施策3) 出産の希望実現プラン【出産】

一人ひとりの多様な生き方を尊重するとともに、男性・女性ともに仕事と子育て等の両立ができる多様な働き方を実現することで、市民の出産への様々な希望（時期、場所、人数等）を叶えます。

【具体的な事業】

- ・乳児家庭全戸訪問による育児に関する不安や悩みの傾聴、相談【希望】
- ・産前産後の世帯に対する家事援助等の支援【安心・サポート】 等

イ 市民の幸福実現を追求する事業

- ・製造業や農業をはじめとした地域産業の成長を図ります。また、就業機会の創出に取り組むことで、一人ひとりのニーズに応じた多様な就業希望の実現を図ります。
- ・市民が安心して暮らすことができるよう、安全で快適なまちづくりに努めます。
- ・生活の質の向上に努め、誰もが幸福を実感できる住みよいまちづくりに取り組みます。
- ・SDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえ、地域の活性化を図り、持続可能なまちづくりに努めます。

(施策1) 地域産業躍動プラン

地域産業（農業・商業・工業）の活力を高めるとともに、多様な就業ニーズに応えるため、市と事業者で連携を図りながら地域産業の活性化に取り組めます。

【具体的な事業】

- ・農作物等の価値向上のための6次産業化の推進【成長】
- ・テレワークなどの多様な働き方への支援【雇用】

- ・学術機関との連携や事業者間交流による地域産業の活性化【民間事業者等との連携】
- ・企業の立地を推進【集積】 等

(施策2) 安心・安全・快適に住み続けるまちづくりプラン

市全体の良好な住環境を維持し、さらに各地域の特性を活かした住みやすいまちとしていくことで、子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちづくりを行います。

【具体的な事業】

- ・減災対策の推進【住環境】
- ・公園再生プロジェクトの推進【快適】
- ・学校給食等を通じた地産地消の推進【食】 等

(施策3) 市民総幸福実現プラン

家族とともに健やかに暮らし、「こころ」も「からだ」も潤いがあり、健康を実感できるまちを目指します。

【具体的な事業】

- ・地域活動に対する支援【家族・地域】
- ・文化芸術を総合政策として推進するための基本的な方針に基づく取り組みの推進【余暇】
- ・スポーツ活動に親しむことができる環境の整備【健康】 等

(施策4) 世界に伝える！吉川の魅力PRプラン

市民が吉川の魅力を知り、好きになり、自慢したくなるような「吉川への愛着心」を育むとともに、市内外の人に吉川の魅力や情報を発信し、吉川を知ってもらい、訪れてもらい、好きになってもらうための活動に取り組めます。

【具体的な事業】

- ・吉川大吉ブランド・吉川ものづくりアワードの推進【郷土愛】
- ・観光関連団体との連携による観光事業の推進【情報発信】 等

※なお、詳細は「吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略第3版」のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,200,000千円（令和2年度～令和6年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度10月頃に「吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定や推進にあたり、外部有識者などにより構成される「吉川市総合戦略推進審議会」において、効果検証を行い、翌年度以降の取り組みにつなげる。検証後、速やかに吉川市のホームページに掲載することにより公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から令和7年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から令和7年3月31日まで